

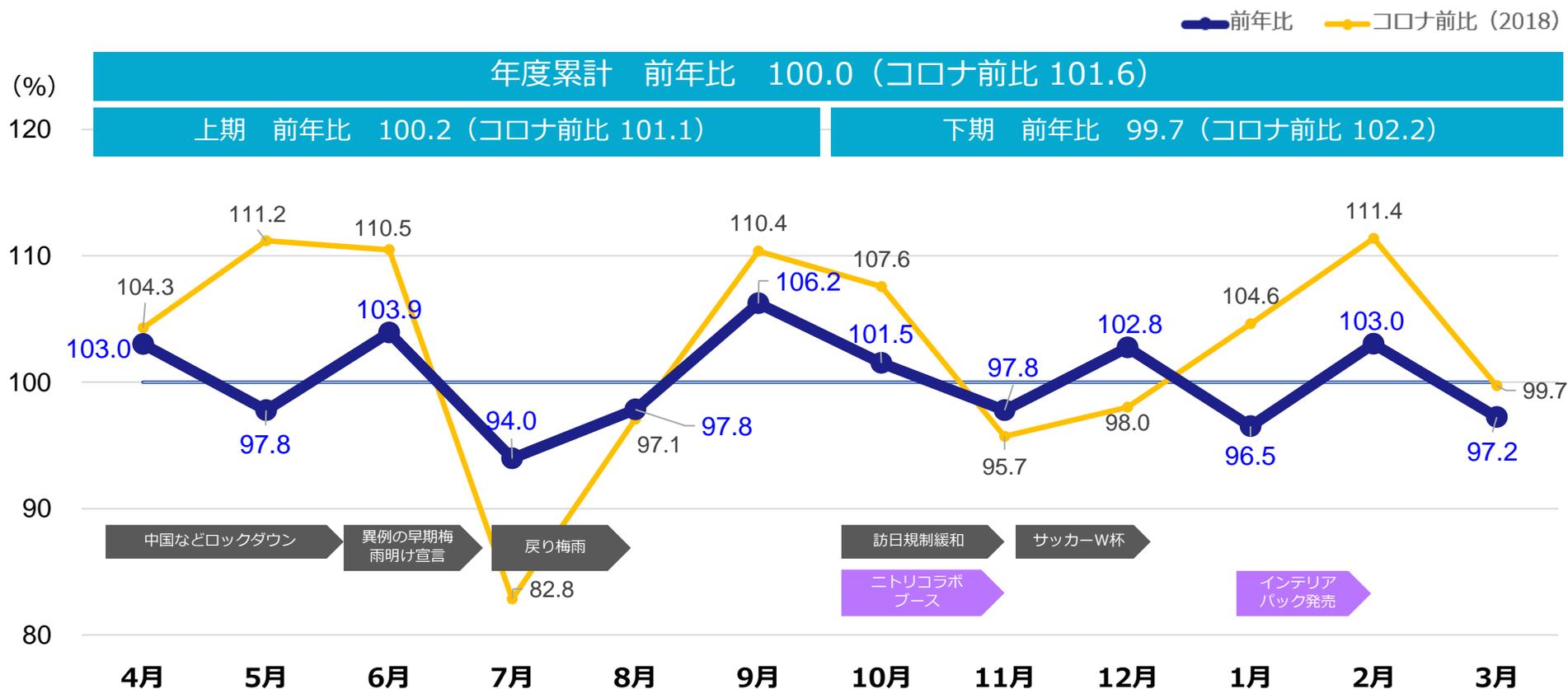


株式会社エディオン 2023年3月期 決算説明会

2023年5月9日

- 1. 2023年3月期 実績報告**
- 2. 2024年3月期 業績予想**
- 3. トピックス**

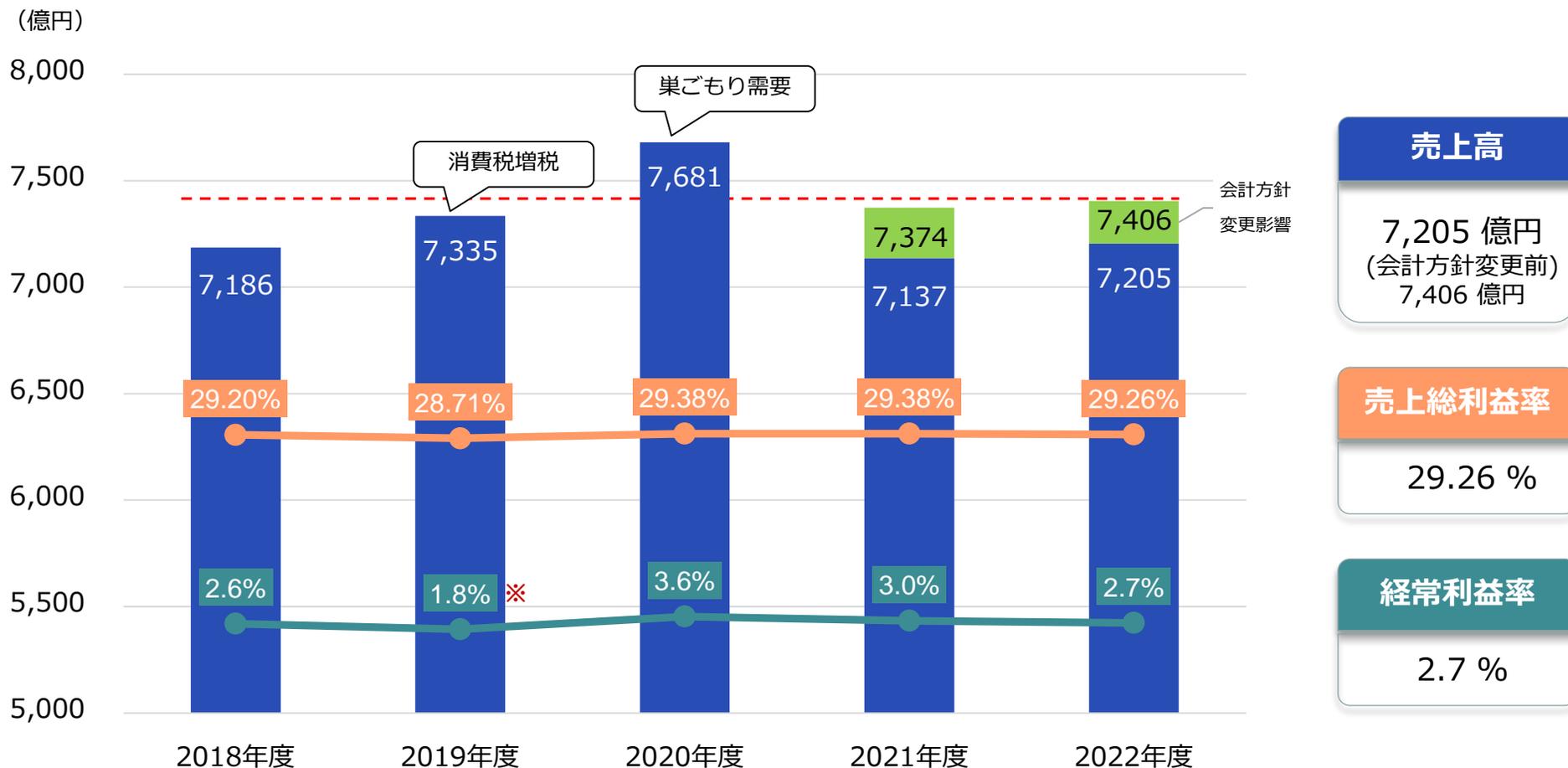
1. 2023年3月期 実績報告



総評

- ・第1四半期 中国のロックダウン等の影響から、季節関連商品が早期に動きました
- ・第2四半期 6月下旬から早期梅雨明けが観測されたものの、7月以降戻り梅雨の天候となり、季節関連商品が低調に推移しました
- ・第3四半期 2021年度は在庫不足が生じていたゲーム関連商品が好調に推移し、12月商戦は2.7%と伸長しました
- ・第4四半期 新生活需要として新たにインテリアパックを導入、コロナ規制緩和により行楽需要が戻り始めました
夏の季節影響を除くと、前年・コロナ前との比較において概ね高い水準で推移しました

百万円・%	2022年3月期 累計			2023年3月期 累計			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高	100.0	713,768	92.9	100.0	720,584	101.0	6,816
売上総利益	29.38	209,681	92.9	29.26	210,876	100.6	1,195
販売管理費	26.7	190,884	96.0	26.6	191,690	100.4	805
広告宣伝費・販売費	6.5	46,751	85.9	6.4	46,157	98.7	△593
人件費	11.2	79,877	99.7	11.0	79,292	99.3	△585
設備費・その他管理費	7.4	52,561	99.3	7.7	55,375	105.4	2,813
減価償却費	1.6	11,693	102.5	1.5	10,865	92.9	△828
営業利益	2.6	18,796	70.2	2.7	19,186	102.1	389
営業外収益	0.5	3,880	183.1	0.2	1,559	40.2	△2,321
営業外費用	0.2	1,087	99.4	0.2	1,496	137.6	409
経常利益	3.0	21,589	77.6	2.7	19,248	89.2	△2,340
特別利益	0.0	315	141.5	0.1	531	168.3	215
特別損失	0.3	2,140	77.5	0.4	2,878	134.5	738
税金等調整前当期純利益	2.8	19,764	78.2	2.3	16,901	85.5	△2,862
法人税等合計	0.9	6,655	77.0	0.8	5,508	82.8	△1,146
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.8	13,109	78.8	1.6	11,393	86.9	△1,716



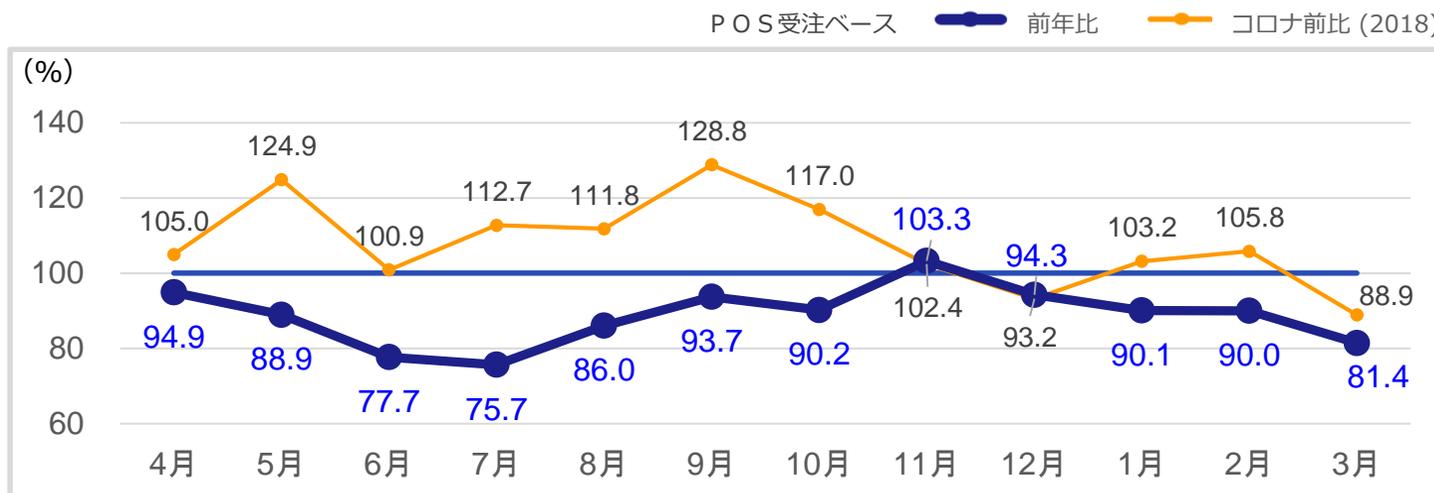
- 売上高においては、巣ごもり需要（2020）を除き伸長
- 売上総利益率 当期実績 29.26% 前期 29.38%とほぼ前年並み
- 前期の営業外収益としてコロナによる大規模施設休業協力金等 23.8億円あり、経常利益率はやや低下した（営業利益率については、 当期 2.66% 前期 2.63% +0.03%改善）

※内容に一部誤りがあることが判明しましたので訂正を行っております。

主要商品別の状況

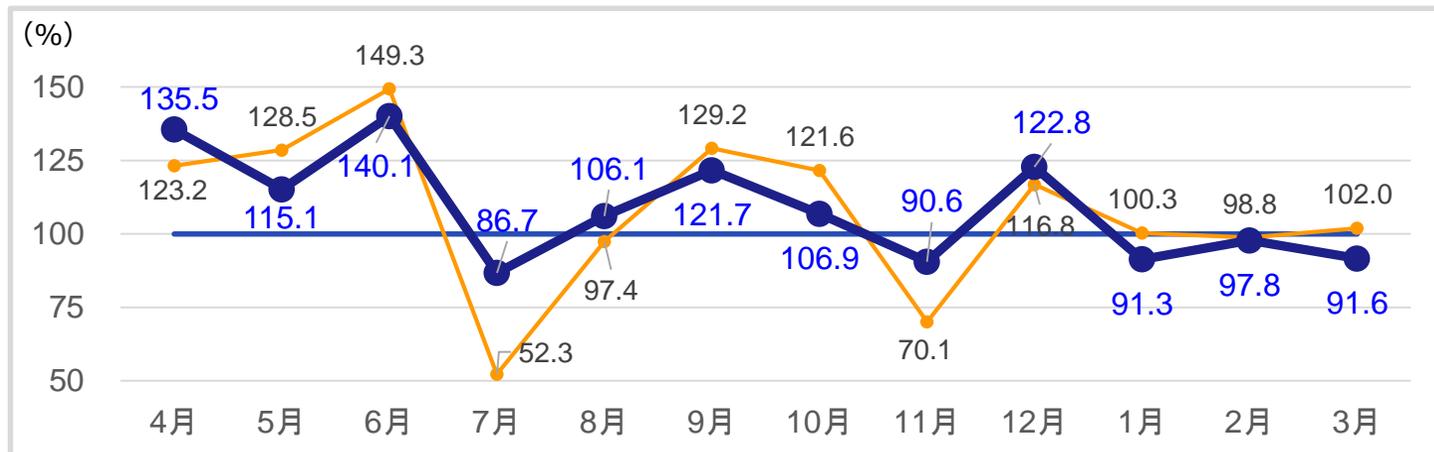
テレビ

年度累計
前年比 88.4%
 コロナ前比 105.9%



エアコン

年度累計
前年比 108.3%
 コロナ前比 97.0%



テレビ：コロナ前と比較すると伸長したものの、2022年度はサッカーW杯開催時の11月を除き前年割れとなった
 エアコン：7月度の天候影響があったものの、堅調に推移した

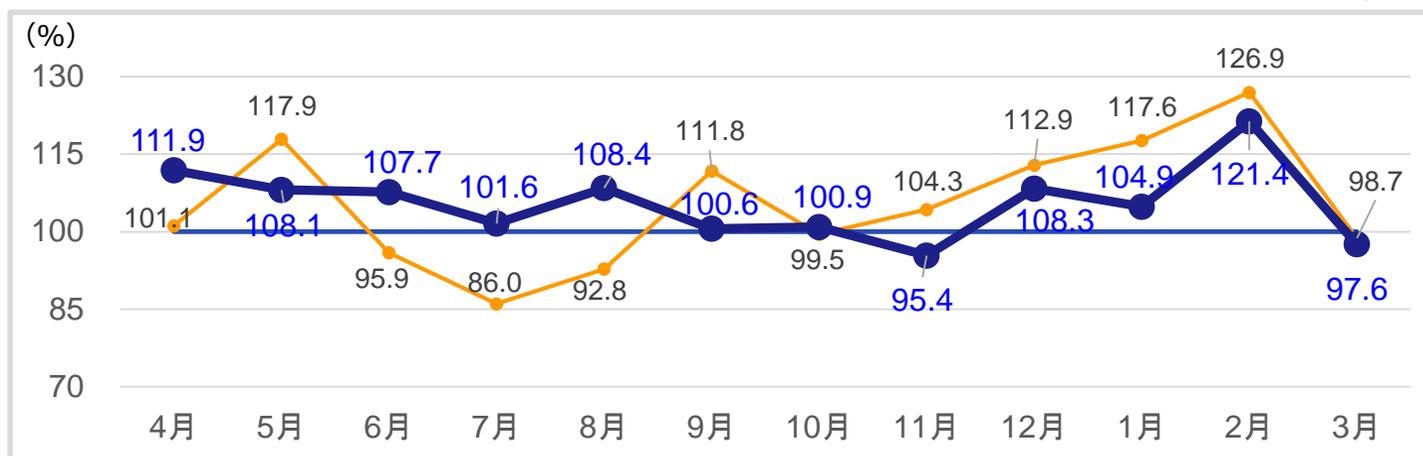
POS受注ベース 前年比 コロナ前比 (2018)

冷蔵庫

年度累計

前年比 **104.9%**

コロナ前比 102.8%

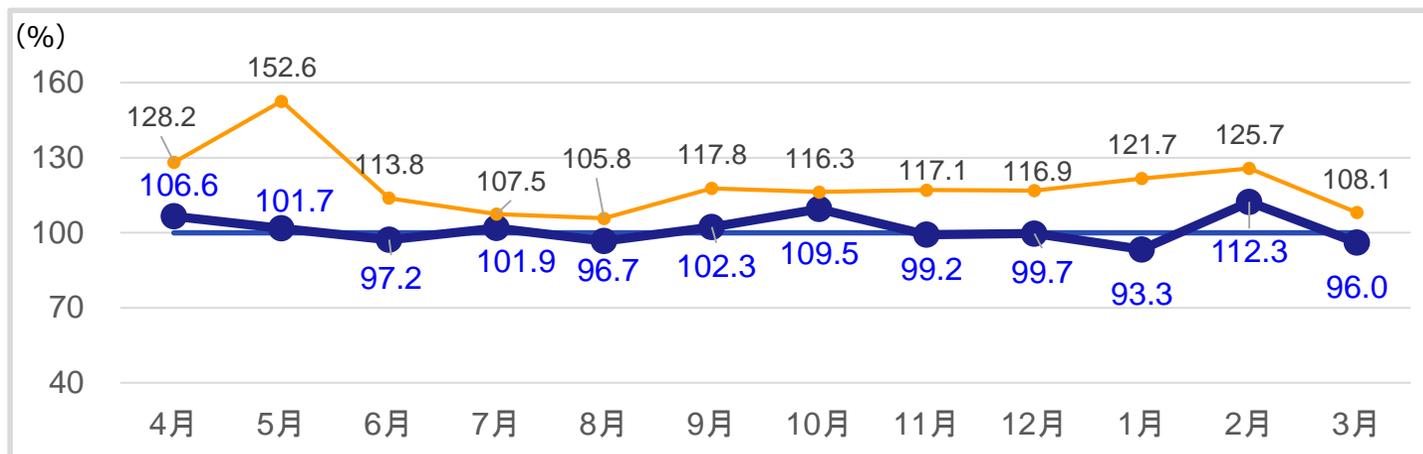


洗濯機

年度累計

前年比 **100.9%**

コロナ前比 117.8%



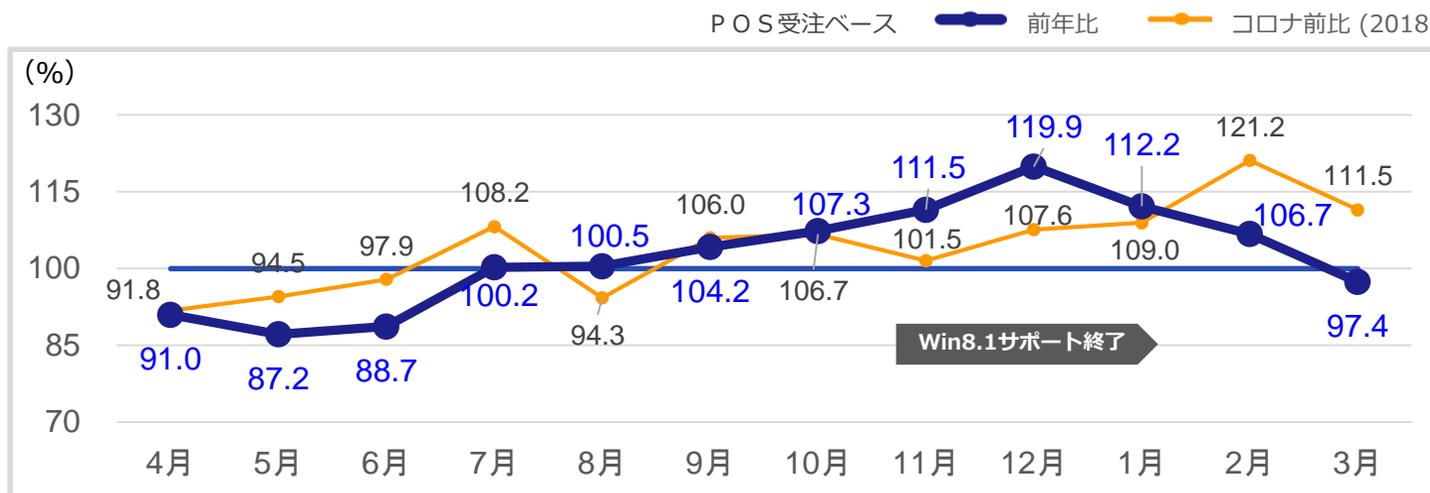
冷蔵庫：サイズ別前年比 399ℓ以下 107.3% 400ℓ-499ℓ 106.7% 500ℓ以上 102.2%

洗濯機：引き続きドラム型洗濯機が牽引（ドラム型洗濯機前年比 107.1% コロナ前比 160.7%）

主要商品別の状況

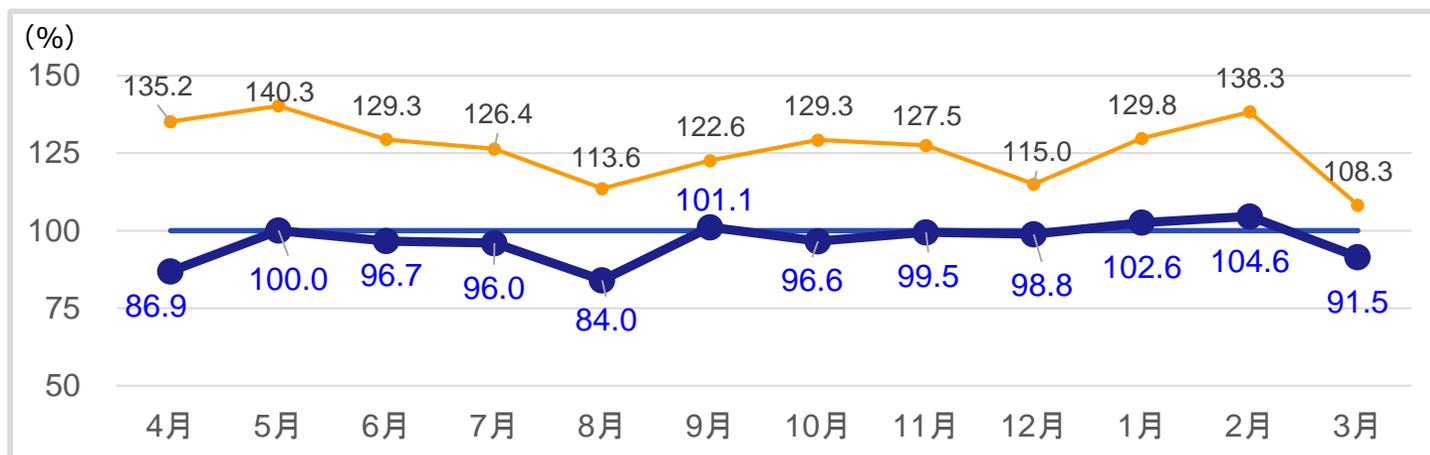
パソコン

年度累計
前年比 102.2%
 コロナ前比 104.8%



携帯電話(台数)

年度累計
前年比 96.3%
 コロナ前比 125.0%

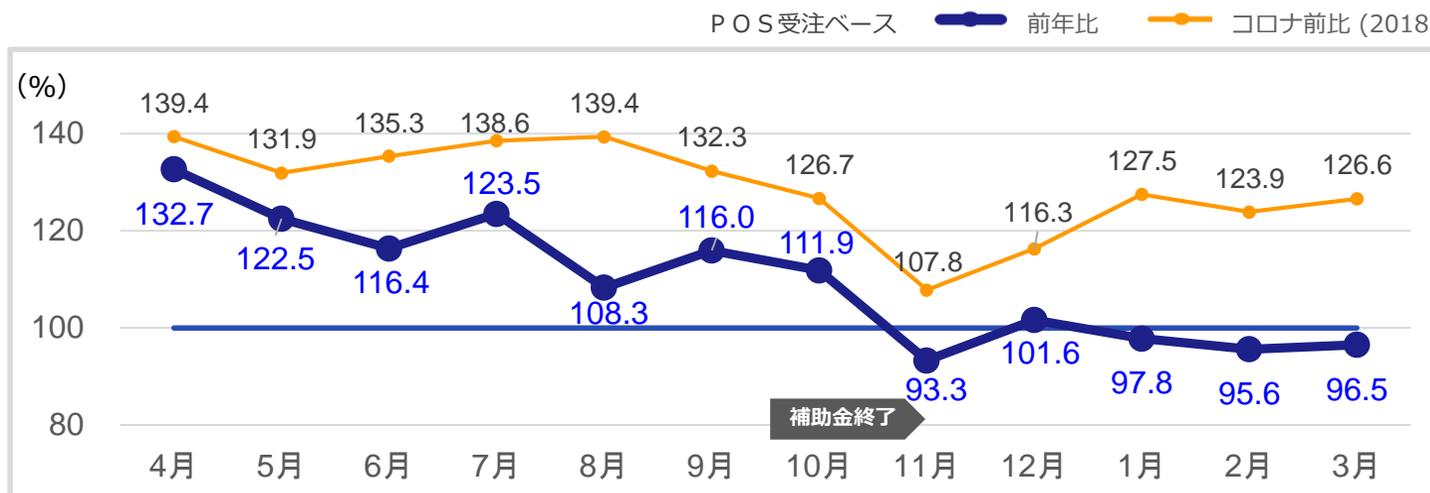


パソコン：2023年1月10日windows8.1のサポート終了にともなう買替需要がピークに
 携帯電話：コロナ前と比較すると125.0%と大きく伸長

主要商品別の状況

リフォーム(ELS)

年度累計
前年比 108.5%
 コロナ前比 128.9%



(参考) 太陽光発電システム

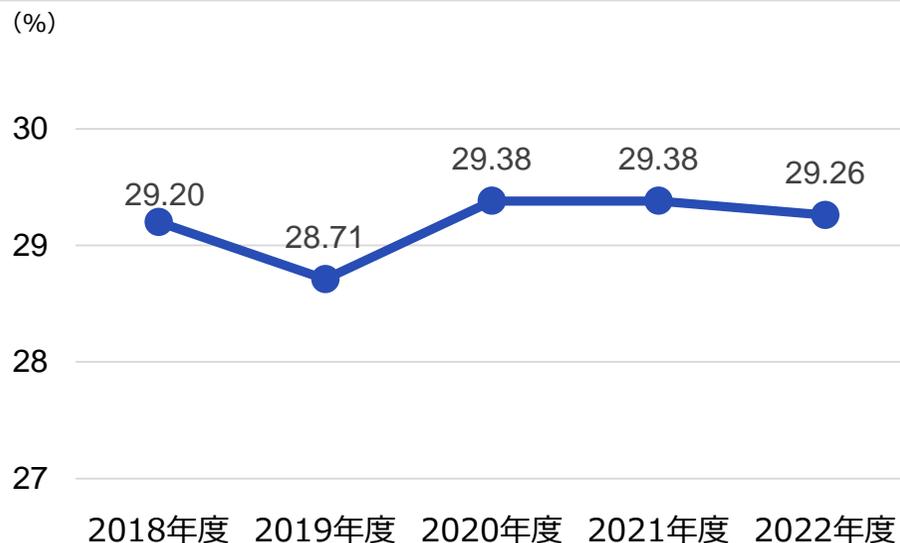
年度累計前年比
太陽光 152.2%



リフォーム：下期補助金終了の影響はあるものの、成長事業として牽引
 太陽光発電：カーボンニュートラル需要の高まりもあり伸長 スマートエネルギー事業として強化

売上総利益率・販管費率の状況

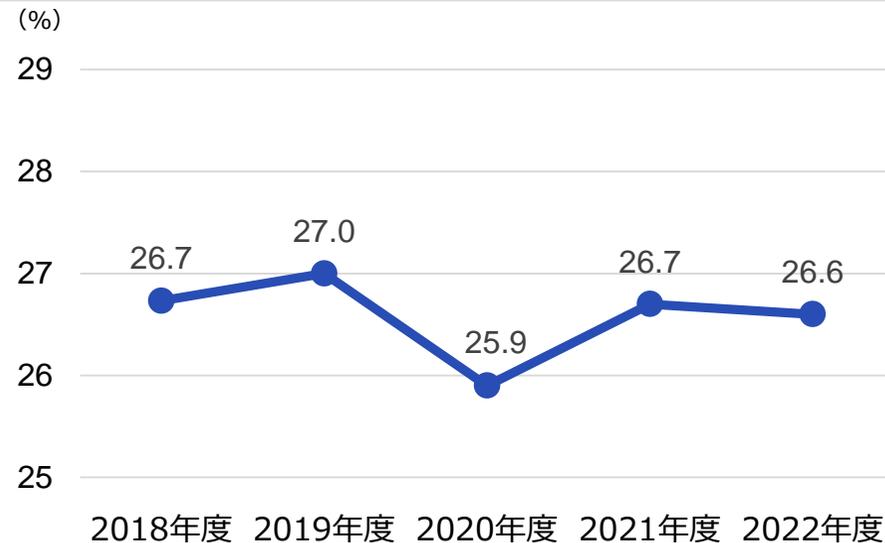
1 売上総利益率



- 売上総利益率 当期実績 29.26% 前期 29.38% 前期差 Δ 0.12%
 - ・第1四半期 30.71% 前期 30.36% +0.35%
 - ・第2四半期 30.13% 前期 30.49% Δ 0.36%
 - ・第3四半期 27.94% 前期 28.34% Δ 0.40%
 - ・第4四半期 28.43% 前期 28.41% +0.02%

前期と比較して、PC・ゲーム・玩具商品の構成が高まったことの影響 Δ 0.11%

2 販管費率



- 販売費及び一般管理費
 - 当期実績 1,916億円 前期差 +8億円
 - 広告宣伝費・販売費 Δ 5.9億円 (販促景品 Δ 5.3億 物流 Δ 1.5億)
 - 人件費 Δ 5.8億円
 - 設備費・管理費 +28.1億円 (光熱費+12.3億 賃借料8.7億円 システム消耗品・運用費 4.4億)
 - 減価償却費 Δ 8.2億円 (のれん Δ 2.9億)

連結貸借対照表および連結キャッシュフロー計算書

連結貸借対照表

(百万円)

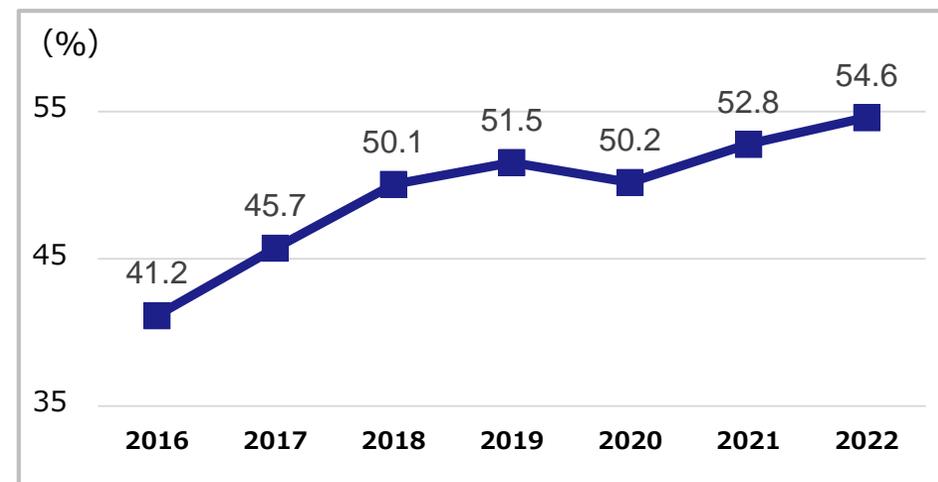
	2022年3月末	2023年3月末	増減
流動資産	190,597	185,739	△4,857
有形固定資産	125,504	122,126	△3,377
無形固定資産	10,169	9,746	△423
投資その他の資産	51,699	51,753	54
固定資産	187,373	183,625	△3,747
資産合計	377,970	369,365	△8,604
流動負債	109,003	107,841	△1,161
固定負債	69,486	59,866	△9,619
負債合計	178,489	167,708	△10,780
純資産	199,480	201,651	2,176
負債・純資産合計	377,970	369,365	△8,604

連結キャッシュフロー計算書

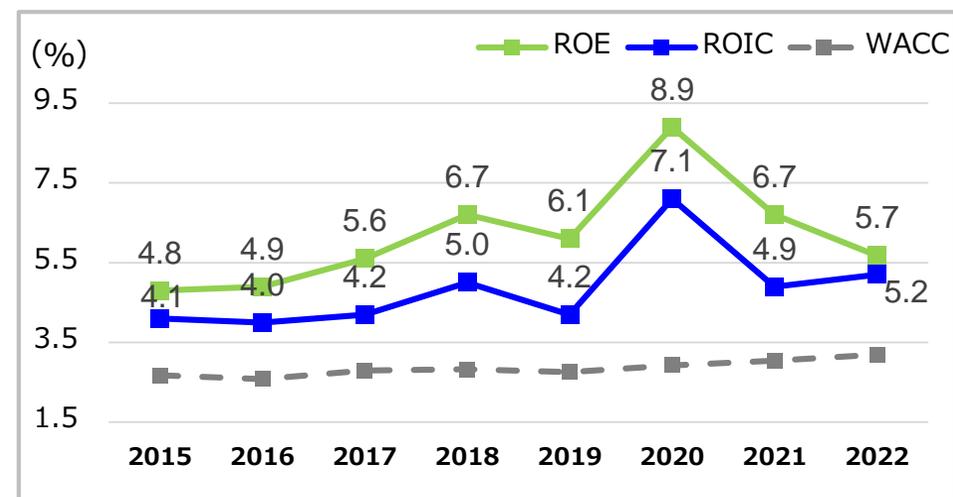
(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期
営業CF	10,576	12,139
投資CF	△10,518	△8,336
FCF	58	3,803
財務CF	△13,245	△20,452
現金及び現金同等物の期末残高	29,885	13,235

自己資本率



ROE・ROIC・WACC



2. 2024年3月期 業績予想

百万円・%	上期予想		下期予想		2024年3月期通期予想			
	業績予想	前年比	業績予想	前年比	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	367,000	104.5	378,000	102.3	100.0	745,000	103.3	+24,415
売上総利益	111,600	104.5	106,750	102.5	29.31	218,350	103.5	+7,473
販売管理費	98,600	102.2	100,250	105.2	26.6	198,850	103.7	+7,159
広告宣伝費・販売費	23,820	100.0	23,500	105.1	6.3	47,320	102.5	+1,162
人件費	40,100	101.1	40,400	101.9	10.8	80,500	101.5	+1,207
設備費・管理費	29,591	107.2	30,931	111.3	8.1	60,521	109.2	+5,145
減価償却費	5,089	94.6	5,419	98.7	1.4	10,509	96.7	△356
営業利益	13,000	125.8	6,500	73.4	2.6	19,500	101.6	+313
経常利益	13,000	127.8	6,500	71.5	2.6	19,500	101.3	+251
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,500	120.2	3,000	69.4	1.5	11,500	100.9	+106

●売上高 既存店前年比 上期 102% 下期 100% 通期 101%

●粗利率 前期同水準で想定

●販売費および一般管理費（主な増加要因）

 広告宣伝費・販売費 新店分および売上変動分の増加

 人件費 給与ベースアップ等

 設備費・管理費 水道光熱費の増加、新店家賃・什器等

出店・移転・閉店実績および計画

		新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数
2022年度実績	上期	4店舗	3店舗	1店舗 (非家電)	+3店舗	452店舗
	下期	1店舗	-	3店舗 (うち2店舗非家電)	△2店舗	450店舗
	通期	5店舗	3店舗	4店舗	+1店舗	450店舗
2023年度計画	通期	9店舗	6店舗	1店舗 (非家電)	+8店舗	458店舗



店舗数（2023年3月末時点）

エディオングループ **1,208** 店舗
 ■直営店 450店舗 ■フランチャイズ店 758店舗

環境配慮型店舗 ビバシティ彦根店
 2023年4月14日オープン
 太陽光パネルを設置 発電量約 16万kWh/年

3. トピックス

システム事業会社の再編

システム子会社(株)エヌワークに(株)Hampsteadを吸収合併 2022年10月実施

- ・ (株)EDIONクロスベンチャーズに社名変更
- ・ 迅速な情報ソリューション対応
- ・ リソースを共有による効率化
- ・ 内製化比率の向上を図る

 EXV EDION X Ventures Corporation

物流事業会社の再編

物流子会社(株)ジェイトップに(株)e-ロジを吸収合併 2023年10月予定

- ・ 物流サービス網の全国展開を推進
- ・ 当社物流ノウハウの強化と物流の社会課題解決を図る



ワークライフバランスの推進

- ・ 年間休日：**113日**に増加
- ・ 連休制度：年1回→**年2回**に増加
(4連休)

- ・ 全社員を対象に
10,000円の一律ベアを実施
- ・ 残業実質ゼロへの推進強化

■ 人事システムの刷新

- ・ 人事関連事務プロセスの効率化
および標準化
- ・ タレントマネジメント、適正配置
- ・ シフトコントロール、無駄な残業抑制

■ 電子プライスの全店導入完了

- ・ 作業の省力化
- ・ シフトの効率化、接客効率の向上



■ その他業務改善・システム改善の推進

- ・ 本部通達のデジタル化→簡単にビジュアルで確認可能
- ・ 統一KPIの見える化→経営ダッシュボードによる営業推進と課題の早期解決
- ・ 人材教育プログラムの拡充、エディオンアカデミーの創設

末永く商品をご使用いただくための取り組み

■ エアコンクリーニングの促進

(2022年度実績)

22万台



(2023年度計画)

30万台

「家電のプロ」エディオンだからここまでやります!

- 1 クリーニング前に異常がないかしっかり点検
- 2 お部屋を汚さないように防水マットでガード!
- 3 フィルターを取り外し、内部をすみずみまで洗浄!
- 4 内部の部品を分解して洗浄機でキレイに!
- 5 動作確認後、クリーニング完了!

■ 修理受付体制の強化

(2023年度下期開始予定)

訪問修理窓口の統一

- ・ 店舗での受付作業の軽減
 - ・ 受電率の向上とスピード対応
 - ・ 利便性向上
- 電話以外の受付も充実



チャット



WEBフォーム

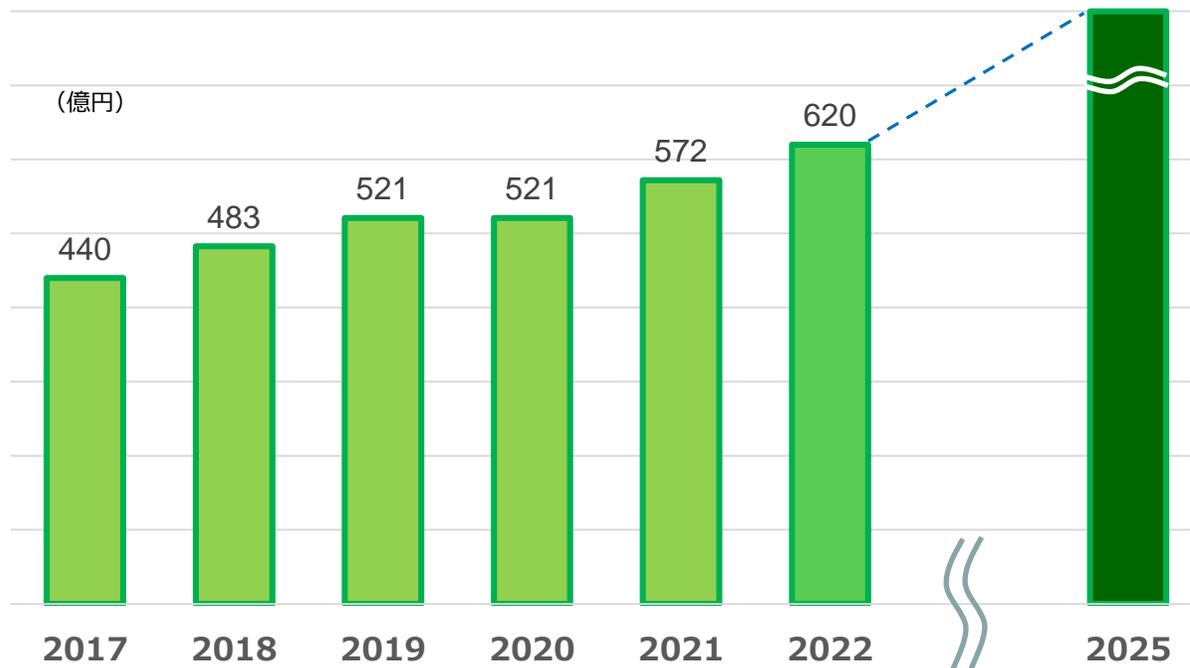


家電の119番
訪問修理窓口

2022年度売上実績 620億円

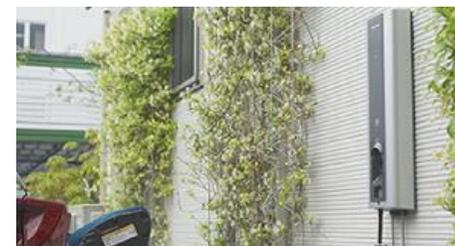
(受注速報ベース)

品質向上とともに
売上規模拡大



現在、黒字事業として成長
さらなる収益力強化を図り家電に次ぐ柱として
中期ビジョンの達成に取り組んでいきます

EVコンセント強化



- EV工事講習の実施
- 施工対応人数増
- 対応エリア全国化

写真見積もり対応の拡大

来店不要!

写真で簡単見積

無料見積

工期短縮
効率UP

メールやお電話でお見積提出からお申し込みまでできる
新しいサービスです。



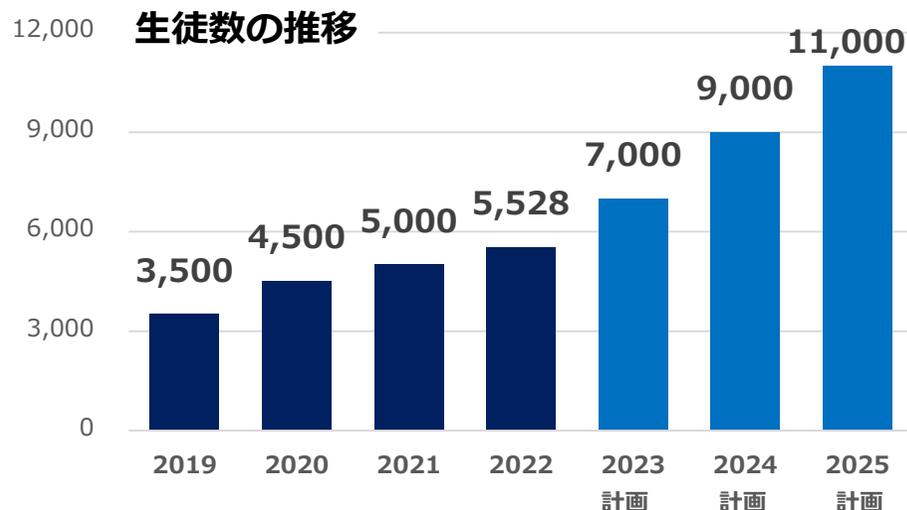
【対応課題】 ・品質向上（工事講習の実施） ・施工対応人数増 ・対応エリア拡大

エディオン店舗内への出店を強化

2022年度：
153校 → 2025年度目標：
281校



個別指導のキッズプログラミングスクール
STEM Academy Kids



ロボットコンテスト【ダンカップ】



動員数2,000人超

民間教室では日本最大級

より多くの子どもたちに挑戦する機会を提供
学びを披露する場で腕を競う大会



生活者の要望を実現
企画から製造（委託）・販売まで当社で実施
特徴的な機能で潜在ニーズを掘り起こす




メーカー各社との共同開発した商品群
お客様の声を反映した機能を追加実装した、
当社専売のオリジナルモデル



クラウドファンディングで開発された商品も（22年6月）

今後もお客様視点に立った生活提案を続けていきます

■ニトリとの共同開発

商品ラインナップを補完し、両社の事業拡大に繋がる家電商品の開発

新たな体験・体感・提案が可能に



倉敷本店：『ニトリコラボ』ブース
家具と家電の親和性が生み出す上質な体感を提案
ニトリの約40アイテムを暮らしにあわせて展開



豊中店：『キッチンボード』ブース
自由に組み合わせられるニトリのキッチンボード
お客様の希望の沿った新しい商品展開

お互いの経営資源を活用した
新たな価値創造のための取り組みを継続しています

サステナビリティ経営の強化～社会課題の解決にむけて～

取り組み強化

1 循環社会への取り組み

循環型社会の実現に向け家電リサイクル法の対象である家電製品の適正な処理を行い、小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化などを積極的に取り組んでいます。認定事業者である子会社(株)イー・アール・ジャパンと連携しグループ一体となった回収体制を構築しています。また、多様な人材が活躍できる場を提供するなど様々な側面から社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。



2 健康経営の推進

エディオンは従業員の健康を重視し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」において、取り組みが優良であると認定されました。



3 地域社会への支援

一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」に賛同し、2021年9月よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。本協賛を通じて今後も地域社会との協調を図り、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



4 サステナビリティ推進委員会の設置

当社では、「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」でありたいという考えのもと、エディオングループの経営理念に基づいて当社の持続的な成長とすべてのステークホルダーの発展に資するため、サステナビリティに関する取り組みを推進しています。なかでも気候変動に伴うリスクや機会は、事業戦略や財務計画に大きな影響を及ぼすものと認識し、サステナビリティ経営をグループ全社で横断的に推進するため、2022年6月にサステナビリティ推進委員会を発足しました。

配当・株価推移

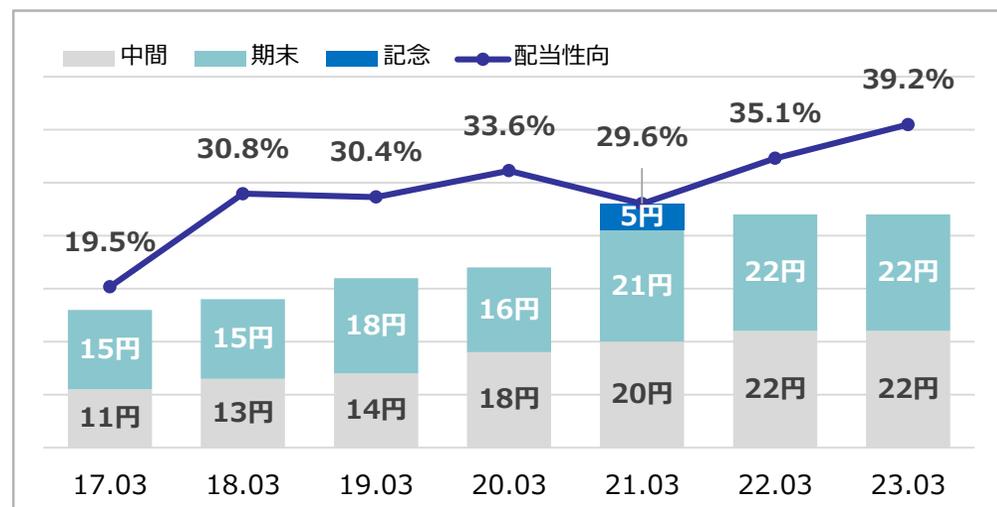
ROI向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



注意事項

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- 本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われぬようお願いいたします。



2023年5月9日